



国連『包括的反差別法制定のための実践ガイド』を 日本で広めよう

「包括的反差別法の実現をめざして」
ワークショップ パート2～国連人権オフィサーを迎えて

2023年11月16日 (木) 12:00-13:30

@衆議院第一議員会館 多目的ホール(11:30-12:00 議員会館ロビーにて入館証配布)

*UDトークを使用した文字通訳あり

*参加申し込みはQRコードか下記のリンクから



<https://forms.gle/Npu3yNBeDrMfAFSY6>



プログラム

はじめに 『実践ガイド』日本語版が意味すること
林陽子 弁護士、IMADR実践ガイド日本語版作成チーム代表

基調報告 包括的反差別法は世界のトレンド
実践ガイドはどのようにできたのか、どう使えるか
Claude Cahn (クロード・カーン) OHCHR人権オフィサー



ビデオメッセージ Jim Fitzgerald (ジム・フィッツジェラルド) 英国NGO ERT事務局長

質疑応答



国連人権高等弁務官事務所（OHCHR）とイギリスのEqual Rights Trust（ERT）は、
昨年12月、『包括的反差別法制定のための実践ガイド』を発表しました。
IMADRはその翻訳にとりくみ、11月に全訳公表の予定です。
実践ガイドの作成に携わった国連人権オフィサーを迎え、
その意義と目的について話していただきます。